青谷高校生徒による青谷小学校児童に対する英語絵本の読み聞かせ

１　目　的

〈青谷高校〉

　小学生の児童に対して普段学習している英語を実際に活用することで、コミニュケーションツールとして英語を使いながら、情報を受け手に適切に伝える能力を育成する。また英語を使って話すことができるという体験を通じて自己肯定感を高める。

〈青谷小学校〉

　英語に対する興味関心を高めるとともに、絵本の読み聞かせをとおして、英語で書かれた絵をみたり、絵本の読み手の表情をみたりすることで、英語が理解できる体験をさせる。さらに、小学校としては、平成３２年度に全面実施される高学年の外国語活動教科化や、中学年の外国語活動導入に向けた取組とする。

２　日　時

平成３０年１２月１０日（月）　１１：５０～１２：１０

青谷高校の４限スタート時（１１：５０）から

青谷小学校の給食スタート時（１２：１０）まで

３　参加生徒及び児童

青谷高校２年次生　５人（英語会話の選択者）

青谷小学校３年生児童　　３６名

４　実施場所

青谷小学校国際理解ルーム

５　実施方法

（１）青谷小学校１クラスを２グループに分け、青谷高校生徒２～３名がそれぞれのグループの児童に対し読み聞かせを行う。

（２）理解と興味・関心を促すために、絵本を基にぬいぐるみや小道具を使用する。

６　使用教材

『The Very Hungry Caterpillar』

『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』